



北海道七飯養護学校・七飯養護学校おしま学園分校
コミュニティ・スクール通信

With

第8号(令和4年度 NO.4) 令和5年3月17日(金)発行

3学期がスタートし、小学部の児童は雪遊び、中学部は雪うさぎの制作、高等部は歩くスキーの活動に取り組み、冬を満喫しています。今年度も残りわずかとなりました。感染症等にも留意しながら、1年間のまとめに取り組んで参ります。

さて、先日2月21日に今年度最後の第4回学校運営協議会が行われました。当日は、お足元の悪い中でしたが、参加して下さった皆様、ありがとうございました。今回のCS通信では、第4回学校運営協議会の内容についてお知らせいたします。

第4回学校運営協議会～R5,2,21 北斗市文化センターかなでーる

内容は、令和4年度七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校の学校評価結果報告と令和5年度学校経営方針（案）について説明を行いました。

1 学校評価結果報告

学校評価結果の分析より、改善の方向性について提案させていただきました。委員の皆様との協議を経て、学校運営協議会委員の皆様にご承認いただきました。学校評価の詳細につきましては、七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校のホームページを御覧ください。



【七飯養護学校】

Key Word「教育課程の充実」

<具体的な方策>

- ・地域を活用した教育活動の充実
(CSの取組を通して地域とともにある学校づくり)
- ・児童生徒の障がい特性に応じた実践
- ・授業づくり及び評価の実践

Key Word「学校からの情報発信」

<具体的な方策>

- ・HP等保護者、地域への情報発信の充実
- ・進路情報など必要な情報の効率的な共有
- ・地域資源を活用した作品展の実施

Key Word「生徒指導の充実」

<具体的な方策>

- ・いじめ対応や不登校対応などに対する組織的な体制の整備
- ・児童生徒と向き合う時間の確保
- ・高等部教務内規の検討

～協議内容～

- ・ICTの活用について、学校側の苦勞もあるだろう。個々の特性に合わせた指導を考えたとき、ICTの活用が生かされることもある。
- ・ICT機器を自発的に使えるような工夫が必要である。
- ・タブレット端末等の自宅への持ち帰っていない状況で、保護者にこういった機器をどのように使用しているのかが伝わりにくい。保護者へのお知らせが必要であろう。
- ・「個別の支援計画」の本人の希望の欄がなかなか埋まらない。どうにか埋めていきたいと感じている。
- ・「個別の支援計画」の内容について、保護者にしっかり伝わっていない状況もあるので、工夫が必要と感じる。

【七飯養護学校おしま学園分校】

Key Word「教育課程の充実」

<具体的な方策>

- ・地域を活用した教育活動の充実
(CSの取組を通して地域とともにある学校づくり)
- ・児童生徒の障がい特性に応じた実践
- ・授業づくり及び評価の実践

Key Word「安心・安全な学校」

<具体的な方策>

- ・危機管理マニュアルの改訂および活用の工夫
- ・児童生徒に対する教師の適切な言動
(コンプライアンス目標の見直し)
- ・規律やルールを明確にした組織的な取組
(感染症への対応、報告・連絡・相談などの徹底)

Key Word「働き方改革」

<具体的な方策>

- ・効率的な会議の推進
- ・組織的で効果的な業務の推進
- ・Google機能を活用した業務の推進
- ・学校全体のルールづくり
(働き方改革を検討するコアチームの設置等)

～協議内容～

- ・町子ども達が減ってきている中で町を盛り上げていくために、分校に通う子ども達にも参加してほしい。
- ・町内会、小学校、中学校、分校で協力して運動会や文化祭等を盛り上げてほしい。
- ・これまで実施してきた清掃活動などについては、住民にまだ知られていない面もあるが今後も継続してほしい。

2 七飯養護学校学校経営方針

現段階での令和5年度の学校状況について確認し、学校評価や年度末反省等を受けて、次年度の学校経営方針について提案させていただきました。学校運営協議会委員の皆様との協議を経て、承認していただきました。

【令和5年度の学校状況】

七飯養護学校(以下、本校)では、小学部には19名、中学部には12名、高等部には21名の新入学生を迎え、開校以来最大の児童生徒数となる。分校では、中学部に1名の新入生を迎えるのみであり、学級数が減ることに伴い、教員数も減る。



学校の課題～R5の重点とする課題

(両校) 共通課題

体験活動の再構築

・WITHコロナに向けての再構築

地域とともにある学校づくり

・学習におけるICT教育の推進

・タブレット学習、オンライン授業

児童生徒と向き合う時間の確保

・働き方改革、新たな研修制度への対応

学校別課題

七飯養護学校

生徒指導の組織的対応

・予防的生徒指導、不登校対応、生徒指導規定の作成

七飯養護学校おしま学園分校

安心・安全な学校づくり

・様々な状況を想定した対応(マニュアル化)と訓練

【学校の課題】

各校5つずつの重点課題がある。その中でも、特に「地域とともにある学校づくり」について、本校及び分校でそれぞれの状況を踏まえ推進する。

本校では、函館市や北斗市在住の児童生徒が多いものの、日々の学習活動の基盤となる七飯町との連携を深めていく。学校運営協議会においてCSで目指したいことを明らかにし、地域資源を活用した活動の充実、情報発信に取り組んでいく。

分校では、石別地区を中心に展開していく。ふれあい運動会の参加をはじめ、Withプロジェクトの充実や情報発信の強化を目指し、新たにCS推進担当者を置く。

【学校運営協議会の組織改編】

令和5年度からは、本校も本格的にCSを推進していく。学校事情やCSの状況が違いう中で、両校の独自性を発揮できる学校運営協議会を目指す。そのため、組織を改編したい。各6名ずつの本校部会と分校部会を設ける。学校運営協議会委員は、それぞれ七飯町、北斗市に関係のある方で構成し、保護者も1名ずつ委員としたい。将来の展望として、教育活動を御支援していただけるチームを編成していきたい。

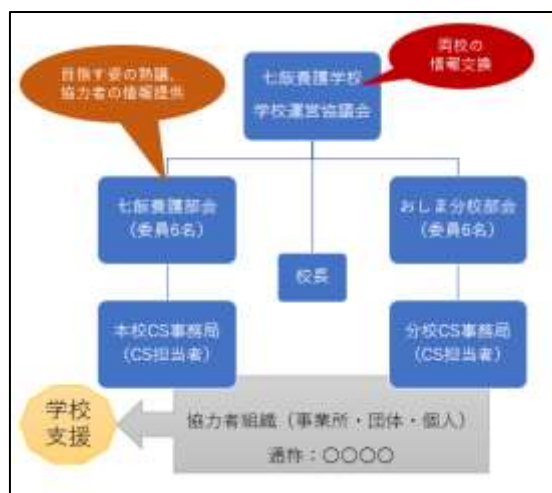
～協議内容～

(学校課題について)

- ・分校の児童生徒数はおしま学園の利用者に直結している。
- ・防災に関するマニュアルはゆうあい会にも多くある。連携していけるのではないかな。
- ・日中の有事の場合は、ぜひ連携していきたい。
- ・町内会の防災訓練などに一緒に参加できるのではないかな。
- ・教員の新しい研修制度では、研修時間を生み出すことが大変なのではないかな。
- ・心肺蘇生訓練等は、子どもを想定した訓練が必要である。
- ・特別支援学校においても、不登校の児童生徒へのケアの必要性があることが分かった。
- ・地域の小中学校と一体化して、できることを増やし、協力体制を組んでいけると良い。
- ・分校に児童生徒が少ないのは、知名度が関係しているかもしれない。PRすることも必要ではないかな。

(組織改編について)

- ・委員の選出についてはまだ詳細をつめていない、今後相談させていただく。
- ・会議の日程次第で校長が忙しくなってしまう。
- ・コンパクトな組織は意見も出やすく良い。



令和4年度学校運営協議会を無事に終えることができました。これまで4回の協議会を開催し、七飯養護学校及び七飯養護学校おしま学園分校の児童生徒のために多くの御示唆をいただき、また地域の皆さんの多大なる御尽力のおかげで、児童生徒の経験を広げ、学びを深めることができました。本当にありがとうございました。学校と地域が協働し、「地域とともにある学校」の実現を目指すコミュニティ・スクールはまだまだ始まったばかりです。今後とも、変わらぬ御支援、御協力をお願いいたします。

学校運営協議会や学校と地域の協働活動につきまして何かございましたらお気軽に御連絡ください。

(七飯養護学校おしま学園分校 0138-75-2717)

